

## 『どうしよう?出かける前にまず電話』

### — 小児救急電話相談 —

夜間休日に子どもの急な病気に困って判断に迷ったら電話して下さい。  
医師、看護師等がご相談に応じるとともに、医療機関への受診についてアドバイスします。

●平日(19時~23時) ●土日祝祭日及び年末年始(18時~23時)



シャープ はっせん

# # 8000

(携帯電話及びプッシュ回線の固定電話で通話可能)

または

## 086-272-9939



## 中毒110番・電話サービス

### ●日本中毒情報センター

- \*大阪中毒110番 (24時間対応) TEL 072-727-2499
- \*つくば中毒110番 (9時~21時) TEL 029-852-9999
- \*たばこ専用電話 (テープによる情報提供、24時間対応) TEL 072-726-9922



## 「こどもの救急」~おかあさんのための救急&予防サイト~

社団法人日本小児科学会ホームページ <http://www.kodomo-qq.jp>

## 地域の医療情報コーナー

●休日夜間の当番医を探すことができます

「岡山県災害・救急医療情報システム」  
<http://www.qq.pref.okayama.jp>

●子ども関連、予防接種などのさまざまな条件から医療機関を探すことができます

「岡山県医療機能情報提供システム」  
<http://www.iryu-joho.pref.okayama.jp>



監修 県南東部圏域救急医療体制推進協議会

発行 岡山県備前保健所

備前保健所:岡山市中区古京町1-1-17 TEL (086) 272-3950

備前保健所東備支所:和気郡和気町和気487-2 TEL (0869) 92-5179

# あわてないで、おちついて! 子どもの応急手当てと 小児救急医療のかかり方



子どもが夜間や休日に体調を崩した時はどうしようかと不安になりますが、  
子どもの救急搬送者の約8割は軽症という状況です。

急いで病院に行った方がよいかどうか、まずは落ち着いて次の項目を判断の  
目安にしてみましょう。

救急外来は便利な時間外診療ではなく、翌朝までの応急処置が原則です。

翌日まで待てる状態なら診療時間内に、お子さんのことをよく知っている  
かかりつけ医に診てもらうのがベストです。

## 子どもの全身のチェックポイント






- 元気がない。
- 苦しそうである。
- くちびるの色が紫色。
- ぐったりして、いつもと顔つきが違う。
- ポーっとしている。うとうとしてすぐに寝てしまう。
- 水分が半日以上ほとんど取れていない。
- 尿が半日以上出ていない。尿の色が普段に比べて濃い。
- その他、いつもとずいぶん様子が違う。




○あてはまることかなければ心配ありません。  
診療時間内に受診しましょう。

○普段から子どもの様子をよく知り、「いつもと違う」と  
気づける目を養っておきましょう。

# 子どもの気がかりな症状の見分け方のヒント

症状と手当て	救急医療機関受診が必要	とりえず様子をみましょう (通常の診療時間を待って受診)
<b>熱が出た</b> 水分補給に努め、汗をかいたら着替えさせる。寒気があるときは保温する。	・生後3か月未満である(概ね38℃以上) ・ひどく機嫌が悪い ・ぐったりしている 	・水分や食事がとれる ・機嫌が悪くない ・夜は眠れる ・熱以外に重い症状がない ・おしっこの回数が減っていない
<b>ひきつけた</b> たいていは3~5分以内で治まる。衣服をゆるめて安静にする。嘔吐があれば窒息しないよう顔を横に向ける。	・ひきつけが5分以上続き、止まりそうにない ・1日に何度もひきつける ・発熱がないのにひきつけた ・頭を強く打った後でひきつけた ・はじめてけいれんをおこした ・嘔吐を伴っている ・けいれんに左右差がある ・けいれんのあと、しばらくたっても反応がなく、意識が戻らない	・けいれんが1回だけで、5分以内で治まり、いったん意識が回復する(その後に眠るのは問題ない) 
<b>せきが出る</b> 部屋の加湿に努める(加湿器やめれタオルなどを室内に干して調節をする)。	・呼吸が苦しくて横になれない、または苦しくて動けない ・呼吸が速い、または走ったあとのように肩で息をする ・顔色やくちびるの色が紫色 ・ヒューヒュー、ゼーゼーいう ・オットセイの鳴き声のような咳をする	・呼吸が苦しくない ・睡眠、食事、運動が妨げられない 
<b>吐いた(嘔吐)</b> 少量ずつ水分を補給し、脱水に気をつける。	・ひどく機嫌が悪い ・強く頭をうった後である ・おしっこが半日くらい出ない ・おしっこの色が普段に比べて濃い ・くちびるが乾いている ・泣いても涙が出ない ・ぐったりしている ・強い頭痛や腹痛がある ・吐いた物に血液や胆汁(黄色~緑色)が混ざる	・元気があり睡眠も取れる ・吐き気が治まった後、水分がとれる 
<b>下痢をしている</b> お茶やスポーツ飲料などをこまめに与える。	・おしっこの量が少ない、回数が減る、おしっこの色が普段に比べて濃い ・くちびるが乾いている ・泣いても涙が出ない ・目が落ち込む ・ぐったりしてきた ・便に血が混じる ・1日に6回以上、大量の水のような下痢	・機嫌がよく、水分がとれ、おしっこの回数がいつもと変わらない 

症状と手当て	救急医療機関受診が必要	とりえず様子をみましょう (通常の診療時間を待って受診)
<b>発疹が出た</b>	・呼吸が苦しそうである ・広い範囲がはれあがるような発疹	・かゆみや痛みがひどくない
<b>頭を打った</b> 頭を打った後、当日は入浴を避ける。普段と変わったことがないか1週間程度、様子を観察する。	・けいれんがおきた ・繰り返し嘔吐がある ・重症な感じがする(子どもの全身のチェックポイント参照)	・大声で泣き、泣いた後は、機嫌がよく普段と変わらない
<b>やけどをした</b> 流水で約30分以上冷やす。服を脱がせにくいときは服の上からそのまま冷やす。水ぶくれができたなら破らないようにして清潔にしておく。	・右記以外 	・範囲が狭く、赤いだけで水疱ができていない

症状はあくまで目安です。個人差がありますのでご注意ください。

## 何かをのどにつめた時の対応

### 気道異物の取り方

**背部叩打法**



乳児の場合は、腕にまたがせて頭が下向きになるような姿勢にし、あごを手の上にした後、突き出すようにする。もう一方の手の付け根で背中の中を4~5回たたく。

少し大きい子どもの場合は、立て膝で太ももがうつぶせにした子どものみぞおちを圧迫するようにして、頭を下げた状態で肩甲骨の間を手の付け根で4~5回たたく。



**ハイムリック法**



年長児では子どもを後ろから抱きかかえて、片方の手で握りこぶしを作ってわきの下を通して、みぞおちの下方に当てる。もう片方の手でその握りこぶしを握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。

**まめ豆**



ピーナッツ等豆類は水分を含むと大きくふくらみ気管内に入ると呼吸ができなくなります。小さなお子さんには与えないようにしましょう。



500円硬貨(目安)より小さなものは、誤飲や窒息の危険があります。子どもの手の届く範囲に誤飲等の事故の恐れのある小さいものを置かないようにしましょう。

## 異物・毒物を飲み込んだ時の対応

落ち着いて様子をみてください。中毒110番でも相談にのってくれます(裏面参照)。受診する時に、飲み込んだものの一部や容器があればそれを持って行きましょう。

# 小児救急電話相談

医師、看護師等が電話でご相談に応じるとともに、医療機関への受診についてアドバイスします

ダイヤルはっせん

## #8000

(携帯電話のフリーダイヤルで通話料)

または

## 086-272-9939

平日：午後7時～11時

土日祝祭日及び年末年始：午後6時～11時

※全国24時間専用電話 (無料24時間)

### TEL 072-726-9922

※中毒中毒情報センター

※夜中毎110番(有料24時間)

[化学物質医薬品、動植物の毒などによる急性中毒]

### TEL 0990-50-2499

※子どもの救急～おかあさんのための救急&予防サイト～

<http://ksodomo-gg.jp/index.html>

真庭圏域救急医療体制推進協議会

発行 真庭保健所管内愛育委員連合会

岡山県真庭保健所

発行：平成20年9月

# 身近な 小児救急疾患 の対応



©fumira

**1 発熱**  
 回復後6ヶ月以内  
 回復がしない  
 回復が繰り返す  
 回復が不明



よく観察  
をする



おしひた

・食欲、元気を、  
他の症状の悪化に  
注意しましょう



・熱のために失われ  
る水分を十分に  
補いましょう



・お子さんにあつ  
た解熱剤の使い方  
をかかりつけ医に  
確かめておしま  
いましょう

**2 せき、咳をする**  
 回復後6ヶ月以内  
 回復がしない  
 回復が繰り返す  
 回復が不明



ここに吸気時に  
凹まないか  
みます

よく観察  
をする



・呼吸数、息づかい、  
顔色、手足の温かさ、  
発汗、爪の色を観察し  
ましょう

・体を起こして寄りか  
かるなど楽な姿勢に  
してあげましょう  
・水分の補給を心がけ、  
部屋の湿度を上げま  
しょう

**3 嘔吐吐き気**  
 回復後6ヶ月以内  
 回復がしない  
 回復が繰り返す  
 回復が不明



あつ  
血便

よく観察  
をする



・吐き気があれば  
うつぶせか横向きに  
しましょう

・大便に血液がないか確  
かめましょう



・飲みたがれば先ず湯ざまし  
を少量与え吐き気の様子を見  
ましょう

**4 下痢**  
 回復後6ヶ月以内  
 回復がしない  
 回復が繰り返す  
 回復が不明



よく観察  
をする



・便を扱ったら  
直ぐ手を洗いま  
しょう

・下痢便の回数・性状  
(血便、粘血便、水様便、  
臭い)、おしこの回数を  
メモしましょう  
・変わった便は受診の際  
持参しましょう



・発熱、発疹、顔色、元気を、  
手足の温かさを見ておしま  
いましょう

□にチェックが入る場合には、原則至急受診した方がよいが、機嫌が良ければ様子を見ましょう

**5 腹痛**  
 回復後6ヶ月以内  
 回復がしない  
 回復が繰り返す  
 回復が不明



95%以上の  
腹痛は排便が  
あれば良くな  
ります

・排便で治ることがあります  
トイレへ行かせてみましょう  
・排便がなければ浣腸してみましょう

**6 けいれんがある**  
 回復後6ヶ月以内  
 回復がしない  
 回復が繰り返す  
 回復が不明



よく観察  
をする

・まず時計を見て、ひき  
つけの持続時間と何を  
してひきつけたかメモ  
しましょう  
・目の向き、体の固さ、  
ひくつきに左右差がない  
か確かめましょう  
・体温を測りましょう

・吐き気があればむせ  
ないように、体を横に  
むけましょう  
・舌を噛まないよう  
にと口の中へ物を入れる  
のは危険ですのでやめ  
ましょう

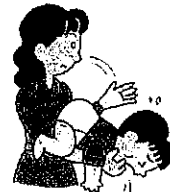
**7 誤飲**  
 回復後6ヶ月以内  
 回復がしない  
 回復が繰り返す  
 回復が不明



心配ない誤飲  
 体温計の水銀・石炭・  
クレヨン・インク・墨・  
化粧水・絵の具・線香・  
シリカゲル・マッチ・  
家庭用洗剤

心配な誤飲  
 ・灯油、ベンジン、  
シンナーなど揮発性  
の物は吐かせてはい  
けません  
・漂白剤、強い酸、  
アルカリは吐かせて  
はいけません

よく観察  
をする



・吐かせるときは…  
指をのどの奥に入れ舌を押す  
・のどに詰まって取れないと  
きは…  
頭を下にして背中を叩くかお腹  
を押して息を吐かせる

**8 頭を強くぶつけた**  
 回復後6ヶ月以内  
 回復がしない  
 回復が繰り返す  
 回復が不明

・意識清明、嘔吐、不機嫌などなければまず  
心配なし  
・悪化すれば頭部CT

よく観察  
をする



・すぐワッと泣いて起き  
あがれたか確かめましょう  
・局所は冷やし圧迫しな  
い  
・2～3日はおとなしく過  
ごさせ、頭痛、目つき、顔  
色、食欲、嘔吐、活発さな  
どに注意しましょう  
・強く打った日は安静にし  
入浴はやめておきましょう

子どもの病気について観察ポイントと  
対処の方法は確認できましたか？



急な発熱など、子どもの病気は心配ですね。  
小児救急医療電話相談や、医療情報を上手に活用しましょう。

## 小児救急医療電話相談 (#8000 シャープはっせん番)

- お子さんの夜間の急な発熱、けいれんなど具合が悪くなった場合に、当番小児科医師や看護師等が電話で相談に応じます。
- 平日 午後7時～午後11時  
土・日、祝日、年末年始：午後6時～午後11時
- 電話番号：#8000 又は 086-272-9939  
(#8000については、携帯電話及びプッシュ回線の固定電話から通話可能です)

## 地域の医療情報コーナー

- 休日夜間の当番医を探すとき  
「岡山県災害・救急医療情報システム」にアクセスすると、津山地域の当番医が確認できます。
- 子ども関係、予防接種などの色々な条件から医療機関を探すとき  
「岡山県医療機能情報システム」にアクセスすると、県内全域で条件別の医療情報が探せます。  
いずれの場合も <http://www.iryu-joho.pref.okayama.jp>
- 夜間休日小児救急診療24時間体制  
津山中央病院では、津山中央病院小児科医、地域の開業医の協力による夜間休日の小児科救急診療24時間体制を取っています。

## 「こどもの救急」～おかあさんのための救急&予防サイト～ホームページ

- 社団法人・日本小児科学会により監修された「こどもの救急」ホームページです。夜間や休日などの診療時間外に受診するか否かの判断の目安を提供しております。
- 生後1ヶ月～6歳までのお子さんを対象に、発熱、けいれん、腹痛などの気になる症状から受診の目安が確認できるようになっています。
- <http://kodomo-qq.jp/index.html>

監修 津山小児科医会  
津山中央病院  
発行 岡山県美作県民局健康福祉部  
岡山県美作保健所管内愛育委員連合会  
住所：津山市椿高下114 TEL0868-23-0148



発行：21年1月  
再版：21年10月

# 子どもの病気とその対応

“あれ！いつもと違う”の気づきが大切！  
観察ポイントと対処方法を学ぼう

体温が37.3℃あります。  
元気そうなんですが・・・  
熱でしょうか？

1歳の子どもが夜中に咳をはじめました。  
息を吸うときにゼイゼイ聞こえます。  
救急受診した方が良いですか？

電卓のボタン電池を  
飲み込んだみたいです。  
便に出るまで、待って  
も良いですか？

1歳の子どもが喉に  
お菓子を詰まらせて、  
ぐったりしています。  
すぐに受診したら良い  
ですか？

美作地域の大切な子ども達がすこやかに育つために、子どもの病気と  
その対応についてまとめました。  
子育て中の方、子育ての応援者の方の手元に置いて、ご活用ください。

# 発熱

子どもの平熱は37.0℃前後です。  
37.5℃以上で微熱、38.0℃以上で発熱と考えると良いですよ。

**観察**  
・機嫌は？元気は？  
・呼吸は普通？  
・食欲は？  
・皮膚の色は？  
・意識ははっきりしてますか？  
・おしっこは出てますか？

**手当**  
・水分補給を十分に  
・発汗や皮膚紅潮があるときは冷やす  
・熱の上がりかけて寒がっているときは、暖める  
・子どもが嫌がることを無理強いしない  
・解熱剤は、元気がないようなら使ってください  
→日頃から、かかりつけ医に使い方を確かめておきましょう

→元気がよければ様子を見て大丈夫

## こんな時は、受診を

- 生後6ヶ月以内
- 起こしても、うとうとして、意識がはっきりしない
- 半日以上もおしっこが出ていない



# けいれん

子どもに起こるけいれんの特徴  
「熱性けいれん」・・・38℃以上の発熱。左右同じ全身けいれん  
「泣き入りひきつけ」・・・痛みや怒りなどで激しく泣いたときに脳が興奮して起きる  
呼吸が突然一時的に止まり、顔やくちびるが紫色になることがある  
「てんかんによるけいれん発作」・・・発熱のない時のけいれんが繰り返される

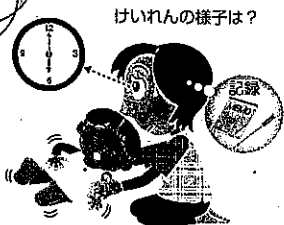
**観察**  
・けいれんですか？  
・悪寒戦慄（ふるえ）ではないですか？  
・意識は？  
・呼びかけに、反応しますか？  
・時計をみて！  
・・・けいれん発作の継続時間を計りましょう

**手当**  
・2～3分で治まるので、あわてずに！  
・体を揺さぶらない、ほほを叩かない  
・静かに横向きに寝かせる  
・呼吸しやすくように衣服をゆるめる  
・口にものを入れない

**<おさまったら記録しておきましょう>**  
\*熱は何℃でしたか？  
\*何をしているときに起きましたか？  
\*けいれんは何分間で止まりましたか？  
\*手足は左右同じ動きでしたか？  
\*けいれんの様子は？  
「び～ん？」「がくがく？」

## こんな時は、急いで受診を

- 10分以上続く
- 意識が戻らない。元気がなく、ぐったりしている
- 短時間に繰り返す
- 全身でなく、部分的なけいれん



# 腹痛

**観察**  
・便秘は？下痢は？  
・痛みの場所は？  
・痛みはいつもありますか？  
・痛みが時々治まりますか？  
・顔色は？元気は？  
→下腹部痛の時は、**睾丸(こうがん)**の観察を

**手当**  
・便秘の時には、  
・トイレに行ってみる  
・排便がなければ洗腸を  
・下痢の時には  
・おなかを休めて消化のよいものを  
・水分はしっかりとる  
(塩分糖分のあるイオン水)

## こんな時は、受診を

- 右下腹部に、ずっと続く痛みがあり、だんだん強くなっている  
→急性虫垂炎(盲腸)かもしれません
- 下腹部痛があり、睾丸が紫っぽく腫れている  
→精索捻転症かもしれません →急いで受診を
- 便に血液が混じっている

心配ですねいつもと違うところはどこですか？



パンフレットで確認してみて、心配なら受診しましょう

# 嘔吐・下痢

機嫌が良く、食欲もあり元気なら心配ありません

**観察**  
・便の様子はどうですか？  
・・・回数、におい、性状(血便、水様便、粘血便、白色便)など  
・おしっこ回数は少なくないですか？  
・発熱、顔色、元気さ、皮膚や口の湿きくあい、発疹などはどうですか？

**手当**  
・吐いたものが気管に入らないように、体は横向きに  
・水分を少量ずつ様子を見ながら与える(牛乳は避ける、母乳はよい)  
・水分補給を十分に  
・吐いたもの、便の片づけには注意して、しっかり手洗いを

## こんな時は、受診を

- 泣いても涙が出ない
- 目が落ちくぼんでいる
- 皮膚、口、舌が乾燥している
- 皮膚が冷たく、白っぽい
- 呼吸が速く、眠りがち。機嫌が悪い
- 1日に6回以上、大量の水様下痢
- 便に血液が混じっている(血便)
- 嘔吐が長引いている
- 緑色の嘔吐がある



# せき、喘鳴(ぜんめい)

せきは、気道の痰や、ひっかかったものを出す防御作用のこともあります。喘鳴(ぜんめい)の時は、受診が必要です。せきや呼吸の様子をよく観察しましょう。

**観察**  
・呼吸は？  
「ぜいぜい」「ひゅうひゅう」ではないですか？

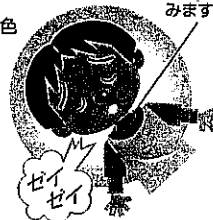
**手当**  
・体を起こして楽な姿勢に  
・十分に水分の補給を  
・室温の急激な変化を避け、乾燥に気をつける

・横になれていませんか？  
・呼吸数、息づかい、爪の色、顔色はどうか？

## こんな時は、急いで受診を

- 急に起きて息苦しそうに変な咳をする
- 息を吸うとき、首の付け根がへこむ
- 横になれずに体を起こしている
- 息切れしてよく飲めない
- 時々呼吸が止まり、爪の色や顔色が紫色

ここが吸気時に凹まないかみます



# 異物誤飲

異物の誤飲は、2歳以下が大半です  
17時から20時の子どもから目の離れやすい時間帯が要注意

- タバコ・食べた量の観察！  
・半分以下、2センチ以下なら・・・放置可  
・それ以上、不明な場合は・・・病院へ
- 心配な誤飲・・・吐かせたらいけない！！  
・灯油、ベンジン、シンナーなどの揮発性の物  
・漂白剤・強い酸・アルカリ
- 処置の不要な物  
・体温計の水銀、石けん、シリカゲル、マッチ、シャボン液  
・クレヨン、インク、墨、化粧水、絵の具、線香

## こんな時は、急いで受診を

- タバコの灰水の汁を飲んだ
- 大人の薬を飲んだ
- ボタン電池やコインを飲んだ
- 咳き込みが止まらない
- 「心配な誤飲」(上記)の場合



# 気道異物

子どもは、何でも口に持っていきます。のどに異物が詰まったら、急いで手当を！(救急車で、間に合わないことも！)

詰まった異物を吐き出させるときは・・・

- 乳児では、うつぶせにし、あごをあげ、気道を開きやすくして、頭を下げ背中をたたく
- 幼児では、抱きかかえ、頭を低くして背中をたたく

# 「子育て支援出前講座」 に取り組んで

平成22年2月 関係者へのアンケート結果から

## 子育て中の方（出前講座参加者）

- ◎講座開催希望は、内容に興味あったから 66.7%
- ◎身近な地域で開催されたから 33.4%
- ◎愛育委員さんに託児をお願いし、安心して集中して聞くことができた。
- ◎スライドや実技があってわかりやすかった。
- ◎定期的に開催してほしい。
- ★子どもとストレスやアレルギー、発達障害についても勉強したい。

## 地域の先生方（出前講座講師）

- ◎アットホームな雰囲気のできるので、大変良いと思います。  
質問もけっこういただきますし（^^）
- ◎熱心に聞いてもらえます。
- ★スライドが長いので、もう少しスリムにしよう～
- ★実技指導には、もう少し指導者の数を増やした方がいいな～

これからも  
都合がつけば  
協力します！



愛育委員さんと  
遊んだよ～

## 子育て支援者（出前講座参加者）

- ◎症状があるとき、保育園で様子をみるのか、受診するのかの目安がわかった。
- ◎ぜひ、保護者の方に対応を学んでほしい。
- ◎子どもの保育や教育に携わる全ての人々が、知っておくことが大切と思う。

## 「子どもの病気とその対応」パンフレット活用者

- ◎読みやすい、見やすい。
- ◎手元に置いて、子どもの発熱の時に確認しています。
- ◎健康カレンダーと一緒に壁に貼ってます。
- ◎たくさんの方に、持っていてほしい。
- ★DVDやビデオもあつたらいいのに～
- ★ホームページにアップしたらどうか！

## 美作保健所管内愛育委員連合会・美作保健所

- ◎平成20年度から、津山小児科医会等に御協力頂き「子育て支援出前講座」を開催しました。  
平成21年度には、愛育委員連合会の再編にあわせ、美作地域全体の取り組みとなりました。
- ◎これからも、地域の関係機関の皆さんに御指導、御協力を頂き、地域ぐるみで「安心して子育てのできる地域づくり」に取り組みしたいと思います。

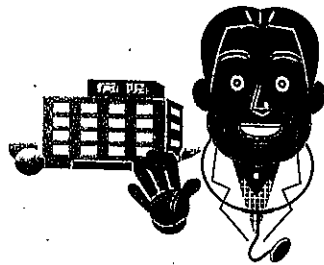
発行 岡山県美作保健所管内愛育委員連合会  
岡山県美作保健所 津山市権高下114 TEL.0868-23-0148



# 安心して 子育てのできる 地域づくり

「子育て支援出前講座」  
の取り組み

みんなで考え、  
一緒に取り組もう



医療機関



子育て支援者  
(愛育委員・保育士など)



行政



子育て中の方

平成22年3月

美作保健所管内愛育委員連合会・美作保健所

## 地域の声

### 子育て中の方(保護者)

- とにかく心配!先生に診てもらおうと安心。
- 救急外来はいつでも診てくれるから受診しやすい。
- 医療費の無料化や核家族化ですぐに受診してしまうのかも…
- #8000(小児救急医療電話相談)等の情報は知らなかった。

救急の医療機関があるだけで安心。医療機関関係者に感謝したい。

救急対応を学ぶ機会やパンフレット等があったら良いのに…

### 地域の愛育委員

- 「子育て」って我が子の時から変わってるのかな?最近の子育ての様子を学びたい。
- 愛育委員だけでなく、若いお母さんにも子どもの病気の話を聞かせてあげたい。

でも、子連れで勉強するのは大変じゃない?愛育委員で託児の応援をしよう!

遠方ではなく地元の公民館で勉強会をしてみたら?  
親子クラブの人に声をかけてみよう!

(平成20年度 アンケートより)

## 美作保健所管内愛育委員連合会 美作保健所

目指す姿

「安心して子育てのできる地域づくり」

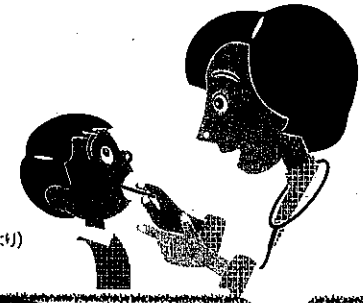


## 医療の状況

### 津山小児科医会・津山中央病院小児科

- 津山中央病院への小児の救急受診は年々増えている。
- 平成17年度から地域連携小児救急システムが稼働中。  
(開業小児科医師が夜間の診療を応援)
- 救急医療の現場での保護者への指導は困難。
  - 小児の病気は重篤な疾患が隠れていることもある。
  - 軽症受診やコンビニ受診を一概にダメとは言えない。
  - 心配なときは受診してほしい。

不適切な受診を減らすためには啓発が必要。  
要望があれば地域に協力する。



(平成20年度 小児救急医療を考える会等より)

平成20年~21年度の地域での取り組み

<目標> 子育て中の人や、地域の支援者が子どもの病気やその対応の正しい知識を持つことができる

## 子育て支援出前講座の開催

### <特徴>…身近な地域で

- 保護者が参加しやすいよう、小児科医師が公民館等に出向く。
- 「子どもの病気とその対応」の講話及び、気管内異物除去の実技指導をおこなう。
- 保護者が集中して学べるよう愛育委員等が託児し、昔のおそびも伝えている。

### <講座の様子>…2年間で24ヶ所、656人の受講

- 平成20年度、津山市、鏡野町、久米南町、美咲町 内の9会場で開催し、159人が受講。
- 平成21年度は上記に加え、美作市、勝央町、奈義町、西粟倉村にも広げて開催し、保護者は13会場で407人が受講。
- 保育士等の支援者対象の研修会は2会場90人が受講。

### <講座の受講経験>…初めての経験

- 講座の受講経験「受講経験無し」 67.4%
- 講演内容の理解「理解できた」 90.6%

先生がこんな身近に!  
具体的でわかりやすかったです。(受講者)



救急車を待っていては、  
間に合わない!  
是非知っておいて!!

ちょっとモデルに  
なっぺね



## 「子どもの病気とその対応」 パンフレットの作成と、地域での活用

### <特徴>…地域の先生と手作り

- 津山小児科医会と津山中央病院の小児科医師と連携し、手作りで作成。
- 子育て中の保護者を知っていてほしい、発熱・腹痛・けいれん等の病気とその対応を盛り込む。
- 「観察」→「手当」→「こんな時は受診を」のキーワード。
- 2年間で20,000部を作成、配布。

### <活用>…できるだけ手渡して「こころ」を添えて

- 美作地域の小児科を標榜する医療機関、産科、市町村、希望する保育園等で配布したほか、出前講座での教材として活用。

### <活用方法>…子どもの健康を願う幅広い関係機関で

- 医療機関 自由に持ち帰れるよう、待合室に設置。  
健康診査や病気受診の時に、保護者に手渡しで配布。  
産科の退院指導で活用。等
- 市町村 保健師の新生児家庭訪問の指導で活用。  
乳児健康診査で配布。  
転入者への配布。等
- 保育園 職員や保護者の研修会で活用。  
ほけん便りと一緒に、保護者へ配布。



パンフレットの詳細は… [http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=118](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=118)



# 小児救急受診ガイドブック こんなときどうする？



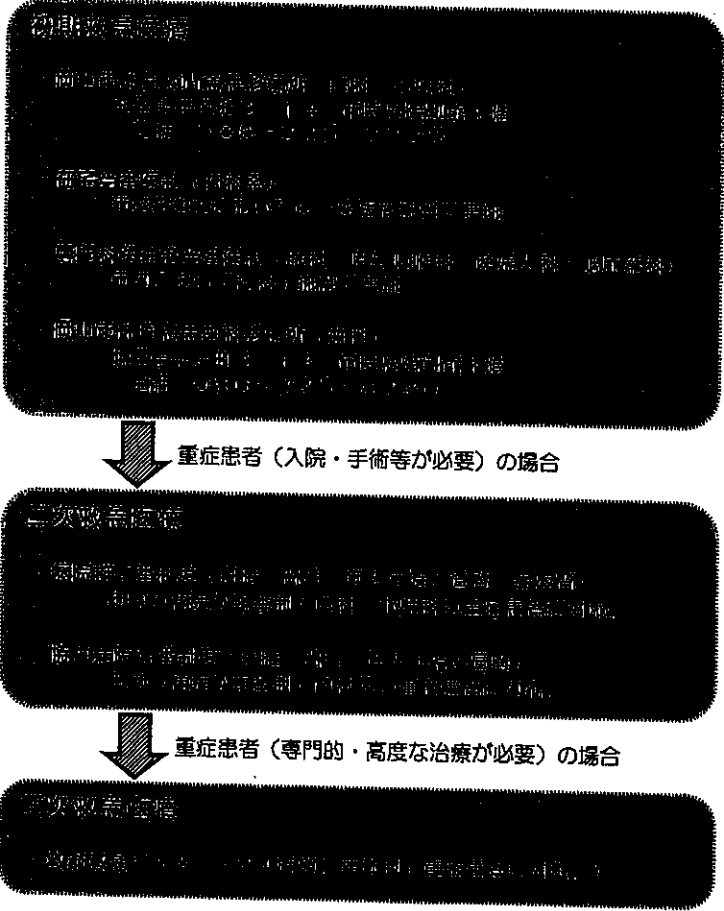
このガイドブックは主に生後1か月～6歳くらいの乳幼児を対象に、休日・夜間の急病やケガのときを想定して作成しています。

岡山市

## 救急医療体制

岡山市では、休日・夜間の救急患者に対応するため、下記のような救急医療体制を整備し、病気の程度や緊急性等によって、救急医療機関を初期、二次、三次とそれぞれの役割を分担しています。休日・夜間の急病時には、できるだけ休日夜間急患診療所、在宅当番医等の初期救急医療機関へ受診くださいますようご協力をお願いします。ただし、事故やけがの場合は救急病院等へ受診してください。

なお、症状が軽い場合には、できる限り翌日「かかりつけ医」に受診しましょう。



内科	岡山市休日夜間急患診療所 (裏表紙に地図があります) 電話 086-225-2225 北区東中央町3-14 市民病院別館1階
	受付時間 (診療は受付開始から30分後) (内科) 日曜・祝日・年末年始 9:30~11:30、12:30~16:30、 20:00~22:30 (小児科) 日曜・祝日・年末年始 9:30~11:30、12:30~16:30、 19:00~22:30 平日の月曜から土曜日 20:00~22:30
	在宅当番医 診療時間 (内科系) 日曜・祝日・年末年始 9:00~17:00 当日の朝刊、岡山市のホームページ及び携帯サイトで 当番医をご確認下さい。
眼科 耳鼻咽喉科 産婦人科 泌尿器科	専門科医在宅当番医 診療時間 日曜・祝日・年末年始 9:00~17:00 当日の在宅当番医・休日夜間急患診療所で紹介します。
歯科	岡山市休日急患歯科診療所 電話 086-225-8280 北区東中央町3-14 市民病院別館1階 診療時間 日曜・祝日・年末年始 10:00~11:30、 13:00~15:00
電話相談	小児救急医療電話相談 電話 #8000 または 086-272-9939
	受付時間 土・日曜・祝日・年末年始 18:00~23:00、 平日の月曜~金曜 19:00~23:00 子ども(おおむね15歳以下)の夜間の急病時の対応等について、 当番小児科医または看護師等が電話で相談に応じます。
救急病院の 問い合わせ	岡山市内救急病院案内 086-231-0119

## 2 急病の対応

休日や夜間のお子さんの急病時は、どのように対処したらよいのでしょうか。すぐに医療機関で受診するべきか、もう少し様子を見るべきか、なかなか判断が難しいものです。次ページから、症状別の対応をフローチャートで示していますので、判断の目安にしてください。

ただし、症状には個人差がありますので、「様子を見る」となっている場合でも、症状が悪化するようなら医療機関を受診してください。

判断に迷った場合は下記の小児救急電話相談をご利用下さい。対応方法や受診について小児科医や看護師から適切な助言が受けられます。

**小児救急医療電話相談**

- ・電話番号 #8000 または 086-272-9939  
(#8000については、携帯電話以外ではかからない場合があります。)
- ・相談日時 (1) 土曜、日曜、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日)  
午後6時から午後11時  
(2) 平日の月曜から金曜  
午後7時から午後11時

また、社団法人日本小児科学会が開設している「ON LINE QQ こどもの救急ホームページ」(<http://kodomo-qq.jp/>)にも急病時の対応等が掲載されていますので判断の目安にご利用ください。

平常時の状態が一番良く分かるのは身近にいる保護者の方です。

日頃からお子さんの様子をよく観察し、急病時には、いつもとどう違うのかよく観察して、受診時に医師に伝えることが診断の重要な材料になります。

